

さくらさくら

令和5年6月1日発行

第28号

社会福祉法人桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



ごあいさつ

桜学館施設長 児玉 俊郎

3年前に桜学館の施設長になり4年目に突入しました。当初はコロナの感染拡大が始まりバタバタ状態でした。5類になった現在でもコロナの先行きが見えず、いまだにコロナ対策に気を遣わなければならない状況にあります。

昨年度は、新館（分園型小規模ユニット）を立ち上げ新たな取り組みを始めました。職員の連携をとることが難しい面もありますが、小規模化を進めていくには乗り越えなければならない課題だと思います。そんな中でも、職員が本当によく動いてくれており施設長としても非常に助かっております。

わたくしも、今年度から全国児童心理治療施設協議会の中部地区代表として役員会に参加しております。現在の課題としては、人材確保と人材育成です。保育士を目指す学生の数も減りなかなか採用に結びつかない状態です。桜学館では、実習生の対応を強化し、実習後に興味を持っていた学生さんを非常勤として雇い人材育成を兼ねた取り組みを行っています。また、学習指導に力を入れたいという思いもあり岐阜大学の特別支援教育講座の学生さんが週2日3人の子どもの学習支援を行ってくれております。また、新たな取り組みとして、県内の児童福祉施設の職員と共に学び成長していこうという思いで、桜学館内で行ってきたSV（スーパーバイズ）を拡大し、岐阜大学准教授であり臨床心理士でもある先生の力をお借りして、他施設の職員さんと共に毎月学習会を行っています。岐阜県の子どもたちがどの施設に入所しても同じケアを受けられるようになればと願っております。これを機会に、大学の先生方との連携を強化し、職員の質の向上に努めていきたいと考えております。大人の成長が子どもたちの幸せに通じると確信しております。そのためにも皆様の様々なお力をお貸しください。スポーツ・文化活動のご協力をいただけるととても助かります。今後とも桜学館の子どもたちのために、さらには、岐阜県の子どもたちのためにお力をお貸しください。

笑顔が一番！

笑顔が生まれる安心を！



＜これからの課題＞

※子どもたちの笑顔を見るために、大人のネットワークづくり。（福祉と教育と医療）

※子どもたちに寄り添えるための力を職員とともに学び続けます。（アセスメント力）

※子どもたちに関わっていただける仲間を募集しております。（文化活動・学習支援など）

1.子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、ひとりひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。

2.子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。

3.子ども一人ひとりの命を大切に、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。

4.子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

風ユニット

昨年度末、早く咲いた桜をみんなで見物に行き、小さな春を満喫しました。今年度、風ユニットの5人でスタートしました。それぞれ進級し、1つ大きくなった学年で、様々なことにチャレンジしていくことを職員一同、サポートしていきたいと思います。GWにはBBQや皆でカレーを作って外で食べたり、映画外出に行ったりと子どもも大人も一緒に楽しみました！！活動は子どもの希望、興味関心に沿った行事、社会性を育てる行事を考え、一緒に行事を作っていこうと思います。



星ユニット



R5年度の星ユニットは、中学生が2人と新社会人1人、新人職員1人を迎えてスタートしました。人数が少ないことで、子どもと一緒に話ながら行事を決めたり、臨機応変に活動することができ今までにない新しい経験を職員もしています。

GWは映画外出に行ったりユニットで焼肉を食べたりと普段できない活動をして、子どもも大人も一緒に楽しみました！

光ユニット

昨年度、中学生 1 人が退所しました。今年度は、それ以外の子どもは同じメンバーの中学生 4 人、小学生 3 人、新たに職員 1 人を迎えてスタートしました。

4 月は小学生、中学生それぞれ登山、5 月は BBQ と川遊びへ行きました。山頂から見る景色に驚いたり、BBQ 場近くの川で職員も子どもも一緒になって水遊びして楽しみました！



空ユニット☀

楽しいな～！

今年度の空ユニットは小学生 5 人でスタートしました。

小学生だけということもあり、ユニットはとても賑やかになりました。

4 月はトランポリンやファミリーパークに行って、思い切り身体を動かして楽しみました。

5 月は子どもたちから要望のあったクレープを作りました。

生地を焼くところから、トッピングまで全て自分たちで作り、

その子らしい個性的なクレープが完成し、みんな満足そうな様子がありました。



クレープ完成～



虹ユニット

昨年度途中から、桜学館第3の男子ユニットが立ち上がり、今年度から正式に稼働しています。他のユニットと違うのは、桜学館では今までなかった中学生・高校生以上の年長児ユニットです。

【個性のある美味しい餃子作り】

5月に餃子づくりをしました。和気あいあいとした雰囲気の中、みんなで協力して良い時間をすごせました◎餃子づくりなのに、なぜか小籠包風の形になったり、妙に職人のような餃子ができあがったりと・・・1人1人個性のある美味しい餃子を作ることができました。

中高生ユニットということもあり、今年のコンセプトは**自立と自律**。まだまだ進歩に時間がかかりそうな虹ユニットメンバー。まずは、生活リズムの安定を目指しています。不安と期待を背負って頑張っていくことはもちろん**笑顔**を忘れず楽しい思い出をつくっていきたいなと思います！



レク委員より

コロナ渦がだいぶ収まり、新館と本館の体制も安定してきた今日この頃…今年度の桜学館では、新館と本館を繋ぎの強固を目標としています。

また、過去に活動していた子ども実行委員を再始動させ、職員と子どもと皆で楽しい行事と一緒に計画していきます。

7月 … 夏のお楽しみ会

桜学館のみんなで、夏らしい楽しいことをやります！

9月 … ファミリーフェスティバル

子どもは勿論、家族の方にも楽しんでいただけるように計画中！

12月 … クリスマス会

今年はどんな風になるかな？まだ分からない…



桜学館分級のあゆみ



進級を祝う会



4月28日（金）の5・6時間目に小・中合同で進級を祝う会を行いました。学級ごとに、学級目標や1年間大切にしたいことなどを発表し、縦割りで組んだチームで力を合わせてレクリエーションを行いました。発表に向けて、各学級で何度も練習を重ね、本番で堂々と話す姿が素敵でした。そして、各児童、生徒が新たな気持ちで分級での生活を頑張ろうとする前向きな思いが伝わる会となりました。



小学生



4年生は、「1年後になりたい自分」を想像し、みんなの前で願いを語りました。また、学級目標『たすけあい』（①たのしい、②すなおな、③けんかしない、④あかるい）⑤いけんを言える）を枕詞にして大切にしたいことを発表しました。

5・6年生は、個人の目標発表では、自分の課題、努力していくことについて語りました。また、学級目標の『オムレッツ』（①おもいやり、②むずかしくてもがんばる、③れんたいかん、④つながりあい）について協力しながら話すことができました。

レクリエーションでは、小中学生合同チームでしたが、協力して活動ができ、とても楽しい会となりました。

自分たちの目標の達成に向かって、それぞれが学習や様々な活動に取り組んでいくことを確かめる会となりました。



中学生



学級の発表では、1年生「dream come ture」、2年生「YD2!」、3年生「Gred your dreams 艱難汝を玉にす」という学級目標について、これからの1年で頑張っていくことを発表しました。話す内容を何度も繰り返し練習し、本番に臨みました。「こんなクラスになってほしい」、「自分はこんな人」など、クラスによって発表内容が様々で、真剣に聞ける場面や、ほのぼのとした笑顔が出る場面があるなど、充実した学級発表の時間になりました。レクリエーションでは、4つの縦割り班に分かれて、中学生を中心に小中全員が楽しめるようなレクリエーションを考えました。準備では、自分たちで案を出し合い、より盛り上がるように簡単な問題だけでなく、得点の高い難問を出題したりして、楽しみました。当日は、それぞれのレクリエーションを縦割り班ごとに順位を競いました。各グループ、一緒に相談し合ったり、仲間を大きな声で応援する姿がたくさん見られ、目標を確認し分級生活を頑張る気持ちを確認する会となりました。



新人スタッフ紹介



衣斐さくら
(児童指導員)
先輩方のようになれるように努力いたします。



宮川暁
(児童指導員)
太陽のように明るく照らせる人になりたいと思います。



松永和奏
(児童指導員)
子どもが安心できる職員を目指して努めます。



小竹花奈
(児童指導員)
挑戦し続けることを忘れずに成長していきたいです。



宮田星空
(児童指導員)
子どもと向き合ながら、成長していけるように頑張ります。



子ども家庭支援センター「とも」より



今年のGWは3年振りに行動制限なしでしたが、みなさんは楽しく過ごされましたか？少しずつコロナ感染拡大前の日常に戻りつつあることを感じ、嬉しく思います。ともでは来所相談、家庭訪問等により子育てに関する支援や里親さんへの支援を行っています。これまで、来所者の体温・アルコールチェック、面談時のアクリル板設置等、感染対策を行いながら支援を強いられてきました。今年度はアクリル板を撤去し、様々な悩みを抱えたご家庭により一層寄り添った支援を行い、地域の子どもの健やかな成長の為に、私たちにできる支援の幅が広がるように尽力致します。よろしくお願い致します。(梅村 咲華)

寄付、寄贈のお礼

ドミノピザ様よりMサイズ20枚、上野様より玄米90Kg、FC岐阜様よりシーズンチケット・Tシャツ、盲養護老人ホーム「優・悠・邑和」様からベッドを3台、株式会社ジーエス様より図書券・クリスマスケーキ、大垣共立銀行様よりバンテリンドーム野球チケットを頂きました。また、岐阜県共同募金会様、宗本汐理様より寄付金を頂きました。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。



編集後記



桜学館の仲間にひつじさんが加わりました。子どもたちは、ひつじのお世話や、毛刈りや糸つむぎも体験しふれあいの時間をとても楽しんでます。

今年も猛暑日が続くと予想されています。くれぐれも体調を崩されませんようにご自愛ください。



広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想を寄せてください。

(E-Mail: sakura@hohoemi.or.jp) 広報委員 川治・清水